

ささえあい

No.23

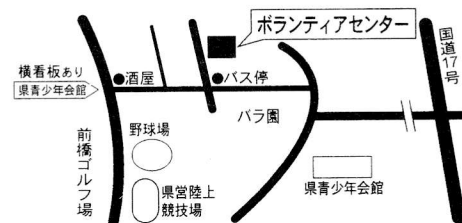
発行／前橋・在宅ケアネットワークの会

事務局 〒371-0045 前橋市緑が丘町26-1(市ボランティアセンター内)

TEL/FAX 027-235-6283

受付時間帯 9:30~12:30

郵便振替口座 00150-2-155119



ホームヘルパー養成研修(三級) 第一期生 誕生!!

十二名の受講生の皆様、ご修了おめでとうございます。

前橋・在宅ケアネットワークの会で、懸案だった「ホームヘルパー養成

研修会(三級)が、この九月で修了しました。

開催するにあたり、講師の先生方、

実習施設の各スタッフの皆様、そしてネットワークの大勢の方々に、ご指導ご協力をいただきました。心より厚く御礼を申し上げます。

さて、この養成研修の開始につきまして、この四月の「軽ボラ、福ボラ」に関する会議が開催されたとき、かねてからの懸念事項であったことから出席者の全員一致で同意を頂きその基で実施の運びとなりました。

期間を七月～九月、受講料三万円、定員三十人、申込方法は、郵送(履歴書)にて、そして催行人員二十人で計画し募集しました。

ふれあいの広場

街中を歩いていると、高齢者ばかりが目につく。九月十五日「敬老の日」に総務省が発表した統計調査結果によると、

七十五歳以上の人は千三万人で初めて千万人を超えて、総人口の七・九%となったと報じている。つまり百人集まるとその中の八人は、七十五歳以上ということである。

そして、高齢者といわれる六十五歳以上の人は、二千三百六十二万人で、昨年に比べ七十八万人増加し、総人口に占める割合も〇・五%増の十八・五%で、国民の五・四人に一人の割合となっている。また、十五歳未満の子供一人に対する割合は、一・三人と高齢者の方が多く、平成二年統計の倍となっていて、少子高齢が急速に進んでいる。世界一の長寿国といわれ、豊かなめぐまれた国と思われるけれど、年寄りより子供が少ないことは、近い将来、国を支える労働人口が極端に低くなり国力の下降は必須となる。

国としては、高齢対策ばかりでなく、少子対策を強力に推進しなければ、国の存立に重大な影響を及ぼす段階にきているのではなからうか。

「子供は国の宝、たくさん生んで、大切に育てよう」
(意志)



募集方法は、当会の機関誌「ささえあい」と一緒に同封し、会員さんを優先に考えました。

実際には、既往の会員さんからの応募は希少で知人の情報を得ての応募でした。カリキュラムを作成し、応募者には速達等で送付して、確認作業の段階で八名ものキャンセルが発生しました。このことについては、私自身、「予期しない出来事」でありましたがホームヘルパー養成研修を何年か実施してきて、初体験であり、組織体制とその機能等の違いを知る事が出来ました。

催行人員二十名にならず、中止また



は延期と迷っていた時、石澤副理事長から「少数でも実施しましょう」との決断の言葉に勇気を頂き十二名の少数精鋭で清々堂々と開催の運びとなりました。募集にあたりましても、急場しのぎで私の前勤務地の生活指導員さんにもご協力を戴きました。

快く率先して受講して下さいました先輩の皆様と、各講師、施設等の先生方がこれ又快く受講して戴けてまして、事務処理も順調に進展できましたことに、深く感謝申し上げます。

当会の事業者指定申請と、実施申請書の提出については、同時進行でしたが、群馬県への申請の手続き等につき



ましても、今年度からその方法の変更がありまして、高齢政策課の戸塚様には懇切丁寧にご指導を頂きました。書類上の研修事業の名称につきましては、「訪問介護員養成研修」で、労働厚生省で定める、この事業を群馬県知事の指定を受けて実施するものです。

規定の研修課程は、五十時間です。（講義二十五時間、演習十七時間、実習八時間、合計五十時間）

今回、当会では、五十四時間を設定しました。



実習を十一、ガイダンスとして三時間、内一時間を講話そして調理実習に二時間を計画しまして、当会の独自のカリキュラムを組ませて頂きました。

講話は、斎藤理事長より医療と福祉、地域活動のネットワークの関わり等に

講	義	25時間
演	習	17時間
実	習	9 時間
ガイ	ダンス	3 時間
合	計	54時間

についてお話を聞き、ネットワークの会の理念について理解していただきまし

た。

「在宅で役に立つ調理実習」と題して前橋保健センターの調理室にて、阿部、高橋両管理栄養士のご指導を頂きました。高齢者の食事、市販の介護食品、咀嚼、嚥下障害がある人の食事のポイント等の説明を受けました。

旬の食材を活かした介護食として

●春菊と人参のねりごま和え

●洋梨コンポートヨーグルト添え

●キンメダイの韓国風煮

●まいたけポタージュ

の四品を二班に分かれて実習しました。みんな仲良く、手際も良く楽しそうに調理し試食会も和やかな雰囲気の中で実施されました。

この研修会の各先生方のエネルギーシユな講義、演習、実習、そして受講生の皆様の眼の輝き、講師と生徒の一体感がそこにあったと思います。各カリキュラムが限無く消化でき、増して、共にネットワークの会員であること、すばらしさは、他にはない、類を見ない活動、事業だと思います。感動の連続でした。

意義ある研修だったと思います。

前橋・在宅ケアネットワークの会のホームヘルパー（三級）研修生第一期

生の誕生です。

これから、十二名の皆様がいろいろ

な分野で「輝き」ます。ぜひ当会の一

期生として、諸活動のプランニングを

して、友好を深め仲間の輪を広げてく

ださる様にご期待申し上げます。

関係された皆様、本当にご苦勞様で

御座いました。今後とも、ご指導ご協

倉林 幸道

「その年齢で、今更何をする心算」と冷かされながら、七十七歳が前橋在宅ケア・ネットワークの会が主催した第一回ホームヘルパー養成研修（三級）を受講した。

一緒の仲間（第一期生）は、女七・男五の計十二名。中心は若い主婦層で、熱心に受講するとともに、積極的な発言など、終始リードしてくれた。（感謝でした。）

年齢は、成人直後の人から喜寿の老人まで職業も趣味も異なるが、一組の親子も参加しており、みんな気持ちを一つにして頑張った。

研修は、講義が二十五時間。実技十七時間。実習九時間等で計五十四時間。八月八日に始まり、九月末で終了した。

（注）終了式は十月末の予定。二十五時間の講義（座学）は、初めて聞く言葉が各所に出て、真剣に学ぶとともに、家へ帰っ

ての復習等でトントンと進んだ。

同行訪問は長い経験を積んだ方がリードして下さったので眼を見張るようなことも多くあり、良い勉強になった。次にデイサービスの見学と実習はなかなか大変だった。エプロンに名札を付けて定刻前に施設に着き、職員と多数の要介護者の前での挨拶から始まり、約七時間、持参した昼食を食べる時には腰を掛けられたが、それ以外は駄目。

常に要介護者に気を配り続け、その要求しようとすることを確認して介護する等、介護のご苦労とヘルパーという仕事の大変さの一部を学ぶことが出来た。

（注）椅子に掛けている要介護者と視線を同じにして対応することの難しさを特に感じました。

これからは、今迄のような中途半端な気持ちを捨て、「ホームヘルパー養成研修テキスト」を掘り下げ「ヘルパーの心得十か条」等を良く学び、「対人援助の

力をお願い致します。

有難う御座いました。

（飯寫）

共通原理」「自己覚知の重要性」「コミュニケーションの大切さ」等を確り学び、介護等の出来る時が来たら、明るく楽しくはつらつと介護や家事援助等に当たりたいと決意しております。

今回の研修は、本当に良い人生勉強になりました。また、この計画から推進についても愛情と細かい気配り有り難うございました。



写真中央が筆者

『暑気払いで 仲間づくり』

三森 和也

去る八月二十四日(土) 十二時三〇分より毎年恒例の暑気払いが国領町の藍屋にて二十八名の参加のもと、和やかな雰囲気の中で行われました。

斎藤理事長のあいさつの後、各自自己紹介をし、おまけによく覚えてもらうために隣にいる人を紹介するというバトンタッチ方式(荒業?)で記憶に残るものとなりました。紹介も半分進んだ頃、小園江さんによる乾杯の音頭があり、はしも進む中、はじめて会った人を紹介するというハプニングもあり、思わず顔を見合わせるなどドキドキものでした。途中、飲み放題が一時間半との情報が入り一瞬暑さが吹っ飛び、まさに暑気払いとなりました。

「紹介」がこんなに面白いこととはおもいませんでした。

今回、提案が四件ありました。
●会の活性化と継続のための「わかネット」の結成。

●ホームページ作成などのIT委員会の立ち上げ。

●機関紙「ささえあい」の編集委員の

募集。

●十月十三日(日)に群馬会館で行われる県主催の「ぐんま福祉のひろば」での介護保険シンポジウムに理事の栗原さんが代表で出席する。

以上四提案は会の歴史を無駄にしないという想いが込められており、新たな動きをとまなうもので、今後役割分担をしながら進めていくこととなりました。

また、事務局の飯島さんより、当会の念願であった「ホームヘルパー養成講座」の現況報告が受講者の出席もある中で行われ大きな拍手で健闘が讃えられました。

こうゆうのつて、毎月でもいいよねとおもいました。とても充実した暑気払いでした。



IT講習会を 開催

あいあいえす 須田 和也

去る九月二十一日(土) 十九時からドコモショップ前橋店二階にてIT講習会を開催しました。当初の予想を上回る十数名が参加し、主に携帯電話による電子メールのやり取りや、使い方についてそれぞれ個別に指導を受けました。

ほとんど利用したことがない参加者の指導から、実際に利用している参加者への指導とさまざまな機能を説明していただき、改めてその便利さを痛感しました。

今後は、参加者のメールによる連絡や情報交換等に役立てるように、それぞれのメールアドレスを交換しました。この講習会をきっかけとして、会員同士の新たなネットワーク作りや、介護サービスの関わる情報交換等に活用して行くことを考えています。また、今後もし不定期にこうした講習会を企画して行くことも考えておりますので、参加を希望される方は是非、ご参加下さい。



幸せをあげる群馬トヨペットの福祉車両

乗る方に応じた使いやすさと優しい配慮で、豊富な車種とバリエーションをご用意しております。



写真はイブサムウエルキャブタイプB

お客様相談フリーダイヤル ☎0120-29-5123
http://www.toyota.co.jp/p-gunma/

群馬トヨペット
本社 〒371-0841 前橋市石倉町2-6-5 TEL.027-251-5111(代)

私たちは「前橋・在宅ケアネットワークの会」をささえています。

医療を通じ すみやすい まちづくり

前橋外科医院

院長 田中 建彦
診療科目 外科・胃腸科

〒371-0802 前橋市天川町1666-1
TEL 027-263-1018 FAX 027-263-1018

富沢内科小児科医院

院長 富沢 隆
診療科目 内科・小児科

〒371-0841 前橋市石倉町2-7-4
TEL 027-251-4779 FAX 027-251-4779

豊田内科医院

院長 豊田 武久
診療科目 内科・呼吸器科

〒371-0037 前橋市上小出町1-30-1
TEL 027-234-1223 FAX 027-234-1224

前橋脳神経外科病院

院長 長屋 孝雄
診療科目 脳神経外科

〒371-0012 前橋市東片貝町720
TEL 027-221-8145 FAX 027-221-8448

塙医院

院長 塙 光一
診療科目 アレルギー科・内科・小児科

〒371-0017 前橋市日吉町4-5-5
TEL 027-231-5348

塚田医院

院長 塚田 穰
診療科目 内科・胃腸科

〒371-0805 前橋市南町3-64-13
TEL 027-221-3155

富沢脳神経外科医院

院長 富沢 憲民
診療科目 脳神経外科

〒371-0031 前橋市下小出町2-13-10
TEL 027-234-3488

中田小児科医院

院長 中田 益允
診療科目 小児科・内科

〒371-0825 前橋市大利根町1-39-1
TEL 027-251-1360 FAX 027-252-3360

富士たちばなクリニック

院長 名倉 隆夫
診療科目 内科・循環器科

〒371-0042 前橋市日輪寺町342-2
TEL 027-230-1155 FAX 027-234-6442

羽生田眼科医院

院長 羽生田 俊
診療科目 眼科

〒371-0022 前橋市千代田町2-10-13
TEL 027-232-1010 FAX 027-234-0020

「かかりつけ医」として健康と介護の相談に応じます

地域の情報 リアルタイムで!!

モーニングインフォメーション

あさいち・朝生・情報通

月曜～金曜あさ6:55～

お昼のインフォメーション

ふれあい
ロード

月曜～金曜
ひる0:00～

GTVニュース

ジャストナウ 545
600
930

●日曜ニュース&スポーツ
夕方6:00～

おかげさまで30年



ぐんぼTV

■お知らせ①

第一回 訪問介護員養成講習の終了式

・日時/11月8日(金) 午後1時より

・場所/県庁 昭和庁舎 3階会議室

●修了証の授与 ●今後のことなど

終了後、高崎市石原町で活躍中のNPOハートフルの見学会を予定。

■お知らせ②

11月度 運営委員会の開催

・日時/11月20日(水) 午後7時より

・場所/会事務所(ボラセン)

理事は必ずご出席下さい。この会議は会員は誰でも出席できます。
会の近況を話し合います。お気軽にご参加下さい。



八重桜をバックに集合写真

古市いこいの家 近況だより

東地区 金子 勇

子持村白井宿の八重桜見物

四月二十三日、利用者の皆さんとボランティアの総勢十七名で福祉バスを利用し高橋運転手のもと一路子持村道の駅へ、場所は、国道十七号沿線で吾妻川を渡ると直ぐです。この道の駅の裏（北側）徒歩五分位の処に白井宿があります。宿は、中央に一メートル程の川が流れており両サイドが街道になりその空間に古井戸、長屋門、歌碑、咲き誇る八重桜が六〇〇メートルほど連なってる所です。今年は開花が十日程早いとのことで、やや散り始めていました。参加者皆さんに降り注ぐ花吹雪で満面笑顔、心から喜んでいる様子が伺えました。心が満たされた後は、バスで五分程先にある子持ふれあい公園の食堂で、子持村特産の「そば」をたらふく食べてから広々とした芝生と池、その一角にあるあずまやに集合、塚田先生のアコーディオンの伴奏で声高らかに「春の小川」ほかを合唱し、心身共にリフレッシュした一日でした。

参考までにお土産は、道の駅で山うど、こごみ、木のみ、などの山菜と、渋川の針塚農産のお漬け物でした。

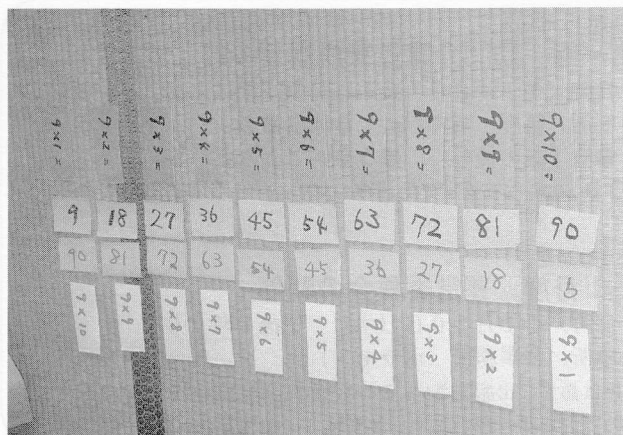
数字並べのお遊び



あずまやでの合唱

Nさんは、植物に関する知識が豊富で勤勉実直な方です。通常開催日には、来る途中の道端の植物（ねこやなぎ、ほとけのぎ、紫かたばみなど）を摘んできては説明してくれる通称植物先生です。植物先生のNさんは八重桜見物の帰りの車中で数字について面白い発見をしたとのこと、これを自宅でカードに作り確認したのでこれについて皆さんに説明されました。皆さんビックリしたり、感心したり、余りの不思議さにより一層盛り上がったひとときでした。何かの折に活用しては如何でしょうか。

手芸に挑戦



並べたカードです

数字並べの説明中、皆さん神妙な顔です





光り輝く作品を手に記念写真 うれしそうですね



先生の指導のもと手つきも鮮やかな小物入れに挑戦

八月は、手芸の月です。ボランティアの飯野千代子さん担当のレパトリーから、経費の掛からない広告紙を用いて編み上げる小物入れに挑戦することになりました。取りかかってみると物入れの大小にも寄りますが紙を折るのに意外に時間がかかり根気の要る仕事でした。折った紙を一つ一つ組み上げて編んで行き、立ち上げに入る処が



ぶどう狩りの要領を園主に聞きながらサーもごう

難しく難儀しましたが、心暖まる先生の教え、素直に聞き入れる生徒の実直さが、作る喜びと出来上がった達成感から作品が輝いております。

甘みたつぷりなぶどう狩り

九月十日急遽、野外活動の一環として、ぶどう狩りをしました。急だった事もあり参加者は十名で二台に分乗し、走ることも二十五分、榛東村のぶどう園へつく、事前に予約してあったので、園主始め奥さん、若奥さんが試食用のぶどうを用意してお待ちかねでした。試食をしつかりとった後、園主に連れられて二十数年経た巨峰棚の下で、ぶどう房に架けられた紙袋の覗き



収穫したぶどうを手にして集合写真

窓から熟れ具合の判定を教わり、自分で覗き窓から体面してみると熟れ具合の判断が難しく、もぎ取る決断が出来難かった。収穫したものをよく見るとぶら下がっているときと比べ、若干若作りだったが甘みタップリで、自分でもぎ取った満足感とぶどうの味は格別でした。

以上この様なすばらしい諸行事が続いて出来ることは、利用者とボランティアの信頼関係の絆が強く結ばれたこと、古市町を中心にした地域の皆さんのご理解、社会福祉協議会の物心両面に亘るご指導、ご支援の賜物と感謝申し上げ近況だよりいたします。

回線問屋

NETWORK SOLUTION COMPANY

オフィスにおけるネットワークコンピューティングを強力にサポート！

システム・アルファは豊富な経験と実績をバックボーンに
Computer & Network でオフィスの明日を創造する企業です



システム・アルファ株式会社

本社：前橋市大友町2-23-5 TEL 027-253-1800
太田支社：太田市飯田町1053 OKビル TEL 0276-45-5568

Yamato

都市と杜の新世界へ

鎮守の杜、里山の杜、参道の並木。

「杜(もり)」はいつも人々の暮らしに溶け込んだ癒しの場でした。

これからの都市には、潤いと憩いをもたらす「杜」を身近に感じたい。

私たちヤママトが常に追い求めるもの、それは、人にも環境にも貢献できる技術。

そして、環境に負担をかけない技術を生み出すこと。

創業以来、私たちはさまざまな分野で環境関連技術を駆使し、

地球にやさしい社会づくりに貢献してまいりました。

自然との調和を目指して、都市と杜の新世界へ。

総合環境エンジニアリングカンパニーへの新たな歩みがはじまります。



株式会社

ヤママト

群馬県前橋市古市町118番地 〒371-0844
TEL.027-290-1800(代) FAX.027-290-1896

URL <http://www.yamato-se.co.jp>

支店/東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎

営業所/軽井沢、太田、伊勢崎、吾妻、前谷、栃木市

付属施設/大和環境センター、大和環境技術研究所、大和環境センター

環境マネジメントの国際標準規格

ISO14001 認証取得

品質保証の国際標準規格

ISO 9001 認証取得

■地区だより■

東地区 第28回例会

歯のはなし

長島歯科医院

長島 明先生



東地区では隔月で例会を開いています。七月二五日には会員の長島明先生にご講演いただきましたので、要旨を報告します。

この日の例会では、中田益允先生から「社会的入院」について。滝沢康先生からは「院内感染」のお話もありました。

一、歯の矯正治療について
矯正治療は保険がきかないが、口蓋裂等の特別の咬み合わせ異常に限って

保険がきく。他に顎が著しく変形し、手術を含めた矯正治療も保険がきくが、これは県の指定を受けた歯科医院でなければ治療が受けられない。

矯正治療費は歯列不正の程度、年齢、治療期間によって異なり、始める前に十分説明を受けると良い。

治療に入る前に三回通院する。初回は患者の悩みを聞き、どういう異常なのか、治療のやその進め方や期間、又、大体の費用を説明する。更に治療によってどの様になるのかを理解してもらう。二回目はレントゲン、顔や口の写真、歯の型などをとり、精密検査を行う。三回目は診断で、具体的な矯正装置や費用の説明を行う。これで十分納得できたら、四回目から治療開始する事になる。

治療開始は一般的には小学生が良いが、内容によって個々に違うので、少しでもおかしいと思ったら早めに相談すると良い。顎の異常がなければ大人になっても十分治す事ができ、四〇、五〇歳でも可能である。永久歯を矯正する期間は約二年必要である。

歯は矯正して動かしした後、約一年間、二、三ヵ月おきに安定状態をチェックする必要がある。特に捻れた歯を治した場合には戻り易い。

二、高齢者の在宅治療について

十六キロメートル以内は往診可能である。平成十四年四月より厚生労働省の通達により、他科の病院に通っている人への往診は不可能になった。往診には治療費の他に交通費という実費があるが、実際、近くの場合には頂いていない。

三、入れ歯について

保険がきく入れ歯ときかない入れ歯の違いは、口の中に入れていかに快適であるかどうかの差である。保険でできない入れ歯は無いので、歯科医に良く相談する事が大切である。入れ歯を夜中は必ず場合には容器に入れ水につけておくことと良い。食後、入れ歯を洗う際に熱い湯を使わない様に。変形する恐れがある。

年齢と共に顎の骨はやせて、入れ歯が合わなくなるが、保険では半年間は新しく作る事はできない。しかし調整をしたり、歯茎に当たるところだけ修正することはできる。

四、歯ブラシの選び方

基本的には隅々まで磨ける手動のものが良いが、手が動かせない人や、時間をかけられない人は電動のハブラシも良い。ただ電動のものは手動の補助に使うものと考えてほしい。又、どちらも毛先の硬くないものが望ましい。磨くとき歯に強い圧力をかけると、歯

の付け根がへってしまいう危険がある。

五、歯みがき剤の選び方

市販されているものはそれぞれ特徴があるが、自分に合ったのであれば、どれを選んでも良い。歯科医院で販売しているものは値段はやや高いが、歯周病、知覚過敏、再石灰化等の薬効がより高い。

六、治療中の痛みの緩和について

今は麻酔をして処置をするので、本来痛い治療は考えられない。笑気麻酔というリラックスしながら治療できるものもある。又、レーザーで即座に痛みを止める方法もある。

おまかせ下さい防犯・防災

機 械 警 備

ホームセキュリティ



施 設 警 備

警 備 輸 送

群馬総合ガードシステム(株)

代表取締役 川 崎 弘

☎ 027-252-5454(代) FAX 027-251-8388

本社 〒371-0854 前橋市大渡町二丁目1番地の5

はじめまして、群馬セキスイハイム不動産(株) 介護事業プロジェクトの生方と池田です。今回は、私も群馬セキスイハイムの取り組みについてお話ししたいと思います。

日本では急速に高齢化が進んでおりますが、住宅については、まだまだ高齢化社会に適應できていないお宅がたくさんあるのが現状です。そこで、群馬セキスイハイムでは、福祉住環境コーディネーター、介護福祉士といった専門知識を持ったスタッフを配置し、高齢者や障害者に向けて、より住みやすい住宅をご提案しております。

これまで実際に高齢者やからだの不自由な方に接してきて思うのは、皆それぞれ身体の状態や精神状態は違いますが、共通して言えることは、皆が

New Face 登場!

No. 1

群馬セキスイハイム不動産(株)

生方 浩之さん

(福祉住環境コーディネーター・
福祉用具専門相談員・一級建築士)

池田美智子さん

(介護福祉士・
福祉住環境コーディネーター)

「安心感」を求めているということですが。身体が不自由になると、今までは安心できた家が、急に危険がいっぱいで不安に思ってしまうのです。例えば、健康な時は何でもなかったちよつとした敷居の出っ張りでも、身体が不自由になると本当に危険に感じてしまうものです。私達は、こうした小さいことから住まいを見直し、皆さんに「安心感」を与えられるように努めております。

ただ、こうした住まいの見直しも、私たちが一方的に与える画一的ななりフォームや建替えではなく、その家に住む高齢者やからだの不自由な方、さらには介護する側の意見が充分反映されたものでなくてはいいけません。例えば、手すりを一本取り付けるのにも、



マニュアル通りに取り付けるのではなく、その方の身長、癖、右利きなのか左利きなのかなどといったことまで考慮して、一番使いやすいと思われる所に付けなくてはいいけないのです。その為、私達はそこが高齢者の身体の状態を知る為、病院への情報収集を欠かしません。医療という専門的な見地からの意見は大変参考になります。中心に高齢者や障害者がいて、介護する方がいて、周りでそれぞれの専門家が意見を出し合う。そしてそれを“家”という形にしていくのです。確かに難しいけれど、完成後に訪問し、皆さん

New Face 登場!

このコーナーでは、会員の事業内容や取り組みを紹介しています。

掲載を希望の方は事務局までご一報下さい。

(編集部)

に笑顔で迎えていただいた時には本当に嬉しく思い、やりがいを感じます。これからも、住宅を提供する会社として、皆が快適に安心して暮らすことができる住まいをご提案していきますので、どうぞ宜しくお願い致します。



群馬セキスイハイム不動産(株)

TEL 027-220-4109

FAX 027-220-4116

New Face 登場!

No. 2

株式会社 ケア・グループ

介護保険事業所番号 1070101140

前橋市元総社町1丁目7番地5

TEL 027-219-3533

FAX 027-219-3534

URL http://business2.plala.or.jp/care_g/E-mail care_g@sea.plala.or.jp

この度、在宅ネットワークの会の会員になりました、株式会社ケア・グループ、代表取締役・蜂巣昇三です。私の母親は二十五年間、前橋で一人暮らしをしており、私は家族と東京で暮らし、週末は前橋の母の元に帰り長年二重生活をしまして七年前、母が他界しその後、妻と二人で前橋市池端町に移り住みました。母の介護では、今の介護保険制度があつたらどの位助かったかと身にしみ、又身近にも大変な方が多く居るのを見、前から介護について勉強し、今年、良い協力者とスタッフに恵まれ、ケア・グループを設立し訪問介護とグループホームの運営を二本柱として始めました。

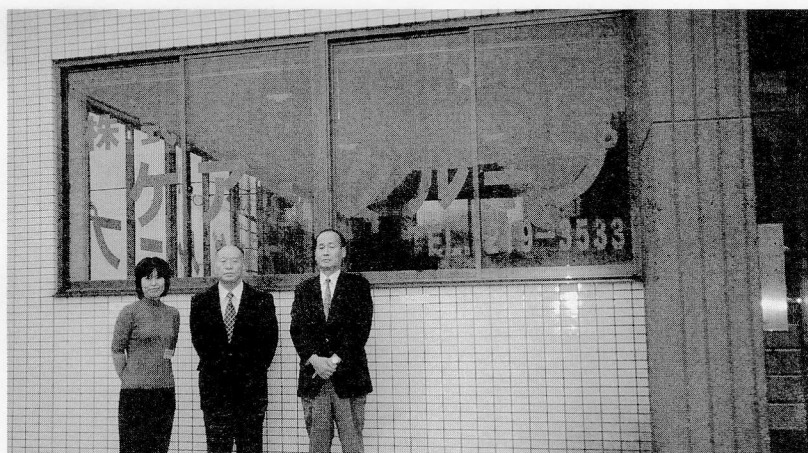
この度、在宅ネットワークの会の会員になりました、株式会社ケア・グループ、代表取締役・富沢昇が担当し、高崎地区にグループホーム井野を今年十二月開設。又、来春、前橋地区にも開設準備中です。

グループホームに入所して頂く方の負担金を少しでも軽く、質の高いサービスを提供出来るよう考え、私が田畑を相続し空いている畑に妻が中心に、季節の野菜・果物をすべて無農薬で育て安心出来る食材を提供したいと頑張っています。

グループホームの介護スタッフも長年介護に携わったベテラン看護婦を施設長に気持ちの優しい優秀なヘルパーで入居者のお世話をさせて頂きます。

ケア・グループは、社会の為、人の為いつでもどこでも、必要な介護を受ける

けられる福祉の実現を目指し、地域社会に貢献出来る会社に発展したいと考えてスタッフ一同頑張りますので、今後(株)ケア・グループを宜しくお願い致します。



編集後記

北朝鮮の拉致事件が二十数年たった今、やっとわかり始めました。拉致を無視してきた政治家や、マスコミの責任が問われます。拉致被害家族の心痛を思うと涙がこぼれます。早く納得のゆく解決がありますように。

さて、当会主催のヘルパー養成講習会が成功裏に終わりました。事務局の飯島さんが、四月から計画をねり、関係各部と綿密な調整を重ね、実施に移したものです。筆者も参加しましたが、医療・福祉・介護を総合的に無理なく勉強できる、極めて優れた講習でした。飯島さんご苦勞様。受講して改めてヘルパーの仕事の難しさ、大切さを実感しました。養成講習会は、当会の事業として今後も継続してゆきます。

ところで今号は多くの寄稿と新人の登場があり、内容豊富な十頁版となりました。新人諸君の活躍を期待します。また、沢山の投稿も待っています。

なお新しく編集委員に、清水、荒木、山田、金子、塩沢、平田の各氏が加わりました。

次号が楽しみです。

実りの秋。当会も稔り多き法人を目指し、あと一步の前進を!

(治)